

現場で活躍する ボランティアさんに 密着しました！

第二大島小学校の
活動紹介

「二大小応援団」の特徴

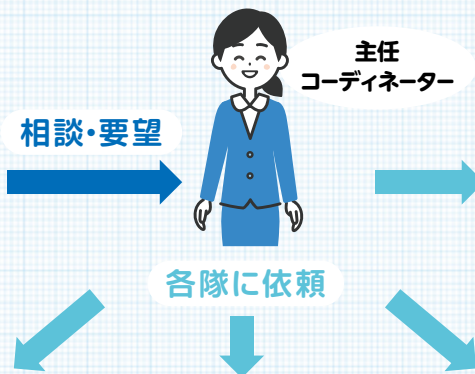
「二大小応援団」(第二大島小学校の地域学校協働本部の愛称)は、10隊に分かれて、活動を行っています。各隊には1名ずつ隊長が配置され、ボランティアさんの調整や指示出しなどを行っています。二大小応援団に寄せられた学校の要望や相談を、主任コーディネーターが司令塔となり、各隊に振り分けています。

『できる人が できる時に できることを』というスローガンのもと、現役・卒業生の保護者、町会関係者などたくさんの方々にご協力いただきながら活動しています。



第二大島小学校

令和6年度からピカピカの校舎



親衛隊

独自イベント企画や学校行事のお手伝い



花植え隊

季節ごとに、昇降口を彩り



丸つけ隊

朝の算数ステップ学習の丸つけ



BOOK隊

図書室の壁面装飾や本の修理



まなび隊

授業補助(家庭科など)



見守り隊

毎朝各所で児童の登校の安全を見守り

このほか、活動隊員募集の案内作り等を行う〈宣伝隊〉や、なかよし学級の英語支援を行う〈English隊〉、校外学習の付き添いを行う〈付き添い隊〉、大会参加に向けた練習場所確保や練習補助等を行う〈ドッジボール隊〉があります。

ボランティアさんと校長先生へのインタビュー

ボランティアさんに、活動のやりがいについて聞いてみたところ、『こどもたちの成長を身近に感じることができる』『まちで声をかけられるなど、こどもたちとのつながりを実感できた』といったお話が寄せられました。校長先生は、『ボランティアさんとの会話を通じて、学校生活では見られなかったこどもたちの様子や変化を知ることができ、大変助かっている』と話しており、地域と学校の双方に良い影響があることが分かりました。

取材で
感じたこと

地域も保護者も 参加しやすい体制づくり

地域と学校のつながりは、こどもたちに、多様な経験と地域への愛着を与えるとともに、保護者の方々にとっても、ボランティア活動を通じて、こどもの学校生活を間近に見ることができるというメリットがあります。様々な立場の方が、手を取り合って、こどもたちのために、『できる時に』『得意なこと、できること』のボランティアに参加してみても、いかがでしょうか。